

○「プランの見直しに向けた検討始まる」

(京都府宮津市 宮津地区連絡会議)(平成31年度第4回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の発生防止・解消

新規参入の 促進

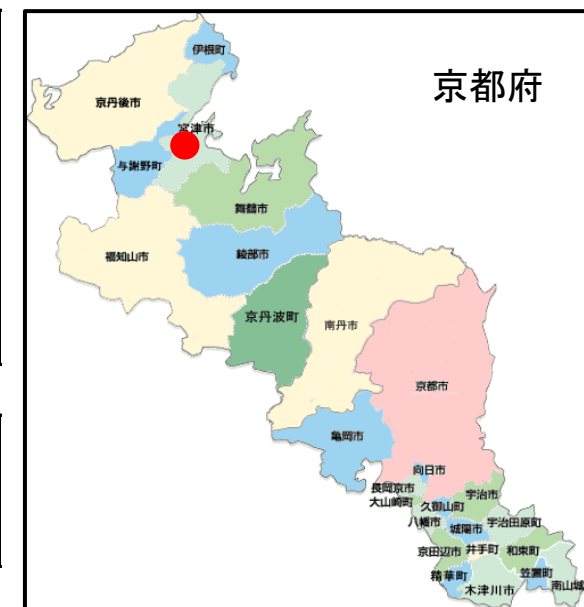
その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- | | |
|-----------|--|
| ○ 日時(時期): | 令和元年8月29日(木) 19:00~21:30 |
| ○ 場 所: | 宮津市波路集会所 |
| ○ 出 席 者: | 委員2人、推進委員1人
農事組合3人、市・事務局各1人
※委員3人、委員以外5人 |
| ○ 報 告 者: | 増田 英雄 農業会議現地推進役 |

2 地区の特徴、状況、課題

宮村：耕作面積14ha、緊急課題は1.4haの遊休農地の対応（山手は遊休農地拡大傾向、平場は家庭菜園希望者あり）
辻町：耕地3.5ha 機械所有者2名 ／ 滝馬：耕地8.5ha 乾燥機9台 ／ 皆原：中山間直払の取組 50a遊休の恐れ
山中：イノシシ被害大 まとめ役不在 ／ 波路：プラン作成済（新規就農） ／ 獅子崎・波路町：高齢化。波路が耕作



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 京カ農場プラン見直し検討
- ・プラン実質化と既存プランについて市が説明
 - ・既存プランは、新規就農者の受け入れ推進、隣接地域との連携による農地集積（新規就農2人有り）
 - ・農地利用図（耕作者年齢区分図）により、現況耕作者を確認
 - ・今後の検討課題 隣接集落を取り込んだプランの検討（農地集積）
 アンケートの実施と検討
 農地中間管理事業の取組検討

4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援